



杉本泰彦さん

- 所属部署:リハビリテーション科
- 役 職:科長
- 趣 味:家族でお出かけ

祖母のリハビリに携わる理学療法士さんの姿を見て、大学を中退してまでこの世界に入り、14年が経ちました。現在はリハビリ科の長として、地域のクリニック様からのご紹介で藤本病院に通われるようになった患者様も含め、QOLを少しでも引き上げられるようリハビリを心がけています。

とりわけ今は入院期間が短くなり、リハビリのゴールも最初の「家に帰る」だけになります。しかしそれでは患者様のQOL向上にはつながりません。そのため科のメンバーにも、退院後の幸せな生活に結び付くよう患者様一人ひとりに応じた目標を引き出す工夫をするよう、常日頃指導しています。



平岡佳世さん

- 所属部署:2階病棟
- 役 職:看護師長
- 趣 味:音楽鑑賞、大河ドラマを観ること

看護師になって30年、藤本病院に入職して12年が経ちました。

4月から、産婦人科病棟と手術室、手術前後の患者様のお世話をする急性期病棟の看護師長として勤務することになりました。

出産や手術への不安を抱えながら、患者様は入院となります。緊急で入院することも多く、不安や緊張がこちらにも伝わってきます。普段通り慣れている地域のクリニック様とは、環境やスタッフも違うので、よりいっそう心細く不安な気持ちにならないようにと心がけています。すべての方に、安心した入院生活を送っていただけるように、病棟スタッフ全員が、笑顔で患者様ごとにきめ細やかな対応を心がけています。



山本深雪さん

- 所属部署:介護老人保健施設 ハーモニー
- 役 職:療養部長
- 趣 味:歌うこと、音楽鑑賞(長渕剛)

看護師になって30年。藤本病院では看護部長も歴任しましたが、現在は介護老人保健施設ハーモニーの療養部長として、主にスタッフ教育や組織作りに従事しています。

ハーモニーではここ数年、「『温かさ』と『優しさ』につつまれた施設であることを目指す」を理念に掲げ、徹底してスタッフへの浸透を図ってきました。理念教育のための委員会の設立や内部研修の開催、日々の声かけなどを続けた甲斐あって、スタッフの意識にも変化が生まれつつあると感じています。加えて利用者様や家族様それぞれの目標を組織全体で共有。これにより介護スタッフと看護スタッフの密な連携を実現しています。今後も利用者様と家族様のお役に立てるよう、スタッフ一丸となってサービス向上に努めてまいります。

# 藤本病院

ichiyukai

〒572-0838 大阪府寝屋川市八坂町2番3号  
京阪本線 寝屋川市駅 徒歩5分

午前診療

●受付8:00~11:45 ●診療時間9:00~

夜間診

月・水・金 ●受付17:00~19:45 ●診療時間18:00~

関連施設

●サービス付き高齢者向け住宅シンフォニー

●居宅介護支援事業所

●介護老人保健施設ハーモニー

●訪問看護ステーション

午後診は予約制です(一部除く)  
詳しくはお問い合わせください。

072-824-1212



ありがとうおかげさま 嬉しい縁を医療でつなぐ



医療法人一祐会 理事長 藤本明久



未知の病気である新型コロナウイルス感染症が広がる中、私も含め多くの医療者が手探りでの対応を進めてきたことだと思います。

当院でも、感染が疑われる患者様については診療をお断りするなどの対策を講じていた時期もあります。

そうした措置により、当院が力を入れてきた救急外来についても、受け入れを制限するなど、地域の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

病院としても、一人の医師としても、患者様を「門前払い」してしまうについて、忸怩たる思いがありました。当院は妊婦や新生児の他、深刻な病気を抱える高齢者など、感染症のリスクの高い患者様が多く入院している病院です。

感染症対策のための設備もなければ専門家もいません。新型コロナウイルス感染症の患者を当院が受け入れるべきではない、という判断から、感染疑いのある患者様については診療をお断りする措置をと取らせていただきました。

その後は緊急事態宣言の効果もあり、新規のコロナ患者数が減ったことから、5月末には緊急事態宣言が解除されました。一般市民の方々は日常に戻りつつありますが、第二波、第三波がいつ、どのような規模で発生するのかわからないため、医療従事者にとっての緊張状態は今後もしばらく続くと思われます。

そのため、藤本病院では、高い確率で訪れるであろう次の感染拡大に向けて準備を進めています。

具体的には患者様への対応マニュアルの整備や、備品の在庫確保などです。

マニュアルについては常に最善の体制で対応できるように、政府や専門家の新たな発表があるたびに更新を行っています。場合によっては1週間単位でマニュアルの変更を行い、現場には負担を強いる形になっていますが、各管理者がうまくチームをまとめてくれています。

病診の連携も、これまで以上に重要になってくるはずです。

地域の医療機関が手を取り合い、一丸となってこの困難とともに乗り越えて行かねばなりません。今後も当院では最大限の努力をしてまいりますので、ご助力いただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。





消化器内科 三浦由雄

専門家としての提案ができるかどうか。

「何がベストの選択肢なのか」を、  
患者様側と相談しつつ、



# VOICE

まずは簡単な自己紹介をお願いいたします。

2月より藤本病院に入職しました三浦由雄(みうら よしお)と言います。  
所属は消化器内科で、内視鏡医として高名な高尾美幸医師のもとで日々色々なことを勉強させていただいている。

医師になられてから何年目ですか?

14年目です。

医師を志したきっかけは?

中学生の時に見たテレビドラマの影響です。  
『輝く季節(とき)の中で』という作品で、5人の俳優が医大生を演じ、医師を目指す過程での青春の葛藤にフォーカスを当てたヒューマンドラマでした。中学生ながらに医師として働くことの難しさと尊さを知り、「自分もこんな立派な仕事がしたい」と思ったのが、一番初めに医療を志したきっかけでした。

医師として心がけていることはありますか?

「優しい医師・考える医師であること」です。といっても単に言動が穏やかであるという意味ではありません。もちろんそれも大切です。でも、患者様の生活環境や人間関係などの背景を考慮に入れてQOLを維持できるような提案をすることや、そうした提案を可能にするための新しい知見を勉強することも、医師としての「優しさ」だと考えています。

ただ、何が患者様にとって本当の意味での「優しさ」になるのかは、いつまでも答えが出ません。とりわけ、ガン診療においては判断が難しくなります。消化器内科はガン患者様の多い診療科ですが、患者様が抱えている背景は一人ひとり違いますから、適切な治療の形も微妙に異なります。

「何がベストの選択肢なのか」を、患者様側と相談しつつ、専門家としての提案ができるかどうか。

そこが医師としての腕が試される場面だと考えています。

スムーズな連携体制を作つていきたないと考えていました。  
お互いに顔の見える関係性を構築し、地域医療の玄関は、やはりクリニック様です。



消化器内科を選んだのはどうしてですか?

医学生時代は将来開業したいという思いがあったので、何かしらの手技を身に付けていたと考えていました。そこで内科の中でも胃カメラなどの手技が身に付く消化器内科を選びました。

検査の際に心がけていることはありますか?

患者様がなるべく苦しまなくて済むような検査をすることです。検査が楽しいという患者様はいません。大半の患者様が「悪い結果が出るかもしれない」という不安の中、消化器内科にやってきます。そんな心境のところに、体の中に機械を入れられ、苦しい思いまでしなければならないというのは、あまりにも辛いですよね。だからそういった検査のマイナス面を、内視鏡医の技術でカバーできればと考えています。とりわけ、地域のクリニック様からのご紹介で内視鏡検査を受けに来られた患者様の中には、はじめて藤本病院に来たという方もいらっしゃいます。慣れない場所や初対面の医師に囲まれた状況ですから、不安もひとしおです。実際以上に検査への恐怖も大きいでしょう。そんな患者様でも、「苦しみもなく、あっという間に終わった」と言ってもらえるような検査を心がけています。

理想とする検査を実現するに当たって、難しいことはなんですか?

「こうやったら検査できる」というマニュアルはあるのですが、「どのルートを進めば嘔吐反射が起こりにくいのか」というノウハウが資料にまとまっているわけではないことでしょうか。患者様をできるだけ苦しませないノウハウを身に付けるには、現場で実践を積んでいる先生たちに聞いたり、自分の経験の中で試行錯誤したりしていくしかありません。日々勉強ですね。

先ほど、地域のクリニック様から内視鏡検査を受けに来られた患者様のお話が出ました。検査での工夫以外に、病診連携のために実践していきたいことはありますか?

お互いに顔の見える関係性を構築し、スムーズな連携体制を作つていきたと考えています。地域医療の玄関は、やはりクリニック様です。病院が、患者様の普段の生活や性格、ご家族との関係性などの細かな情報を蓄積するのは困難です。しかしこうした情報がなければ、効率的な検査や治療をしていくことはできません。お互いに顔の見える関係になっていれば、クリニック様からも気軽に当院の検査設備をご利用いただけますし、私たちからも患者様について尋ねることができます。

そのためにも、実際にお会いしてお話しするチャンスがあれば、積極的に活用していきたいです。

ありがとうございました。



# 新型コロナウイルス感染症対策支援

## 寝屋川市による支援

**【感染者や濃厚接触者への支援】**寝屋川市保健予防課: 072-829-7773

感染の疑いのある人や濃厚接触者が自宅で健康観察を行うとき、本人だけでなくその同居者も外出することなく生活を行えるように市が支援します。

### 対象者

次のいずれかに  
当てはまる人

- PCR検査の結果待ちの方。
- 検査の結果、陽性が確認され、自宅にて入院先や宿泊先の決定を待つ方。
- 感染者の濃厚接触者で、自宅にて健康観察を行う方。

### 支援内容

- 専用相談ダイヤルの開設及び在宅支援業務
- 健康観察、自宅内の感染防止に関する手続書の配布
- 配食サービス、買い物支援サービスの提供

#### 配食サービス(無料)

午前中に昼食、午後に夕食及び翌日の朝食を  
接觸しないように玄関先に配達。  
使い捨て容器で日替わりメニュー。

#### 買い物支援サービス(商品代金は全額自己負担)

原則健康観察期間が14日間など長期間に  
わたる方が対象。週2回計4回まで。

参考資料: 寝屋川市HPより

## 経済産業省による支援

**【持続化給付金】**中小企業庁金融・給付金相談窓口: 0570-783183

持続化給付金センター: 0120-115-570

感染症拡大により営業自粛等により特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金です。

### 対象者

次の3つを  
満たしている  
事業者

- 資本金10億円未満の中堅・中小企業・小規模事業者、  
フリーランスを含む個人事業者。  
(医療法人、農業法人、NPO法人などの法人も含み、  
資本金額などが定められていない場合は従業員数が2000人以下)
- 2019年以前から事業収入があり、今後も事業を継続する意思がある事業者。
- 2020年1月～12月の期間で、ひと月の売上が前年同月比50%以上減少  
している月のある事業者。

### 給付内容

- 中堅・中小企業・小規模事業者・・・200万円  
※ただし、昨年1年間の売上からの  
減少分を上限とします。
- フリーランスを含む個人事業者・・・100万円

#### 売上減少分の 計算方法

前年の総売上(事業収入) - 前年同月比▲50%月の売上 × 12か月

### 申請

基本電子申請受付。パソコンでもスマホでも簡単にできます。  
持続化給付金のホームページからお手続きください。  
ご自身では電子申請を行うことが困難な方は申請サポート会場にて入力サポートを行います。詳しくは持続化補助金ホームページをご覧ください。

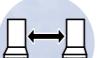
参考資料: 中小企業庁「持続化補助金」HPより

## 新型コロナウイルスの取組み

いつもご紹介いただき  
ありがとうございます。



入り口で検温問診。



読み物はビニールコーティング。



雑誌は撤去。



待合の座席は間隔を取っています。



受付や会計では飛沫が飛ばないように  
シールドを張っています。



防護服は、スタッフの手作り。



熱のある人が待機できるように入口横に退避場所を設置





シンフォニーの理念は「ありのまま『喜び』『笑い』あふれる  
あたたかい『空間』『絆』を大切にします」というものです。



久保智子さん

- 所属部署: サービス付き高齢者向け住宅シンフォニー
- 役職: 施設長
- 趣味: 歴史



今後、医療依存度が高い利用者様が増加していく中で、  
サービスレベルを今以上に高めていくことがシンフォニーの目標です。

## 医療法人一祐会 関連施設

### サービス付き高齢者向け住宅シンフォニー

- 全32室 (内2人部屋2室)

〒572-0840 大阪府寝屋川市太秦桜が丘32-36  
TEL:072-396-9088 FAX:072-396-9087

### 介護老人保健施設ハーモニー

- 通所リハビリ ●短期入所
  - 訪問リハビリテーション ●日・祝営業
- 〒572-0801 大阪府寝屋川寝屋2丁目14-9  
TEL:072-824-2090 FAX:072-824-2094  
JR学研都市線「星田」駅 徒歩3分

### 居宅介護支援事業所

- 営業時間 月～金 9:00～16:30  
土 9:00～12:00
- 〒572-0838 寝屋川市八坂町13-18  
TEL:072-811-7010(直通) FAX:072-822-3400

### 訪問看護ステーション

- 営業時間 月～金 8:30～17:00  
土 8:30～12:15
- 〒572-0838 寝屋川市八坂町13-18  
TEL:072-822-3232 FAX:072-822-3400

私は医療ソーシャルワーカーとして20年働いたのち、4年前にシンフォニーの施設長に就任しました。シンフォニーの理念は「ありのまま『喜び』『笑い』あふれるあたたかい『空間』『絆』を大切にします」というものです。施設に入ることで不自由を感じるような場所ではなく、今までのライフスタイルを維持しながら、安心して生活できる場所でありたいと考えています。そのためにヘルパーに常駐してもらうとともに、藤本病院による全面的なバックアップ体制を構築しています。さらには全従業員が喀痰吸引等第3号研修を受講しており、これからはさらに高度な第1号研修の受講者も増やしていく計画です。

## 寝屋川駅前の看板を一新しました。

京阪「寝屋川」駅構内の看板が6月3日から一新されました。2015年から取り組んでまいりました病院の増改築も落ち着き、病院の理念が変わったことから、駅構内の看板も一新することになりました。



藤本病院基本理念

ありがとう おかげさま 嬉しい縁を 医療でつなぐ



患者様一人ひとりを大切にする医療を行い、保険・医療・福祉の各分野と連携して、地域社会に安定した医療サービスを提携するという思いが込められています。

駐車場内の池が  
整備されました。



「めぐる水の池」



水槽のある院内から一歩外へ出て、  
駐車場でも生き物の生態が観察  
できるように池を作りました。



「ポンちゃん、元気そうやん」と、声をかけ  
てくれる患者様は、水槽をのぞいて目の  
保養(?)をしておられます。  
のぞくたびに少しづつ成長するカメや魚  
を見るのは楽しいものです。

多くの患者様の「やすらぎ」の場になることを  
切に祈っています。  
当院にお越しの際は立ち寄ってください。

